

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

午前の部

登録販売者試験

(平成24年 9月 4日 (火) 実施)

試験問題

医薬品に共通する特性と基本的な知識・・・ 問 1 ～ 問 20
 主な医薬品とその作用・・・・・・・・・・・・ 問21 ～ 問 60

注意事項

- 試験開始のアナウンスがあるまで、問題を開かないこと。
 - 試験監督員のアナウンスにより、問題用紙の表紙に受験番号を記入するとともに、解答用紙に氏名及び受験番号（6桁）を記入すること。
 (注) ①受験番号は、算用数字で記入すること。
 ②解答用紙の「受験番号記入欄」には、受験番号に対応した数字をマークすること。
 - 問題用紙は、表紙を除いて32ページある。試験開始後、乱丁等がないかを確認し、異常があるときは速やかに試験監督員に申し出ること。
 - 各問題について、答えを一つ選び、その番号のカッコの中全体をHBより濃い黒鉛筆で濃くぬりつぶすこと。(下記(例)参照)
- (例)【問150】
 次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。
- | | | | |
|---|---|---|---|
| | a | b | c |
| 1 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 誤 |
| 3 | 正 | 正 | 誤 |
| 4 | 誤 | 正 | 誤 |
| 5 | 誤 | 誤 | 正 |
- a. $1+1=2$ である。
 b. $5-3=3$ である。
 c. $1\times 2=2$ である。
- aは正、bは誤、cは正であるから、正しい答えは「1」となる。
 よって、問題番号に対応した解答用紙の番号「150」欄の「1」を塗りつぶすこと。
- | |
|-------|
| 150 |
| [1] |
| [2] |
| [3] |
| [4] |
| [5] |

→

150
■
[2]
[3]
[4]
[5]
- なお、答えを修正した場合は、必ず消しゴムであとが残らないように完全に消すこと。鉛筆のあとが残った場合は、修正または解答したことにならないから注意すること。
- 解答用紙の<注意事項>もよく読んでおくこと。

医薬品に共通する特性と基本的な知識

【問 1】

医薬品の本質に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品は、人の生命や健康に密接に関連するものであるため、人体に及ぼす作用がすべて解明されたものだけが医薬品として承認される。
- b. 一般用医薬品は、医療用医薬品に比べ相対的に保健衛生上のリスクが低いと考えられる。
- c. 一般の生活者が一般用医薬品の添付文書や製品表示に記載された内容をみただけでは、効能、効果や副作用等について誤解や認識不足を生じることもある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	正

【問 2】

医薬品の安全性等に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品の添付文書は、発売当初から 10 年単位でまとめて改定されることとなっている。
- b. 登録販売者は、常に医薬品の有効性、安全性等に関する新しい情報の把握に努める必要がある。
- c. 薬事法では、健康被害発生の可能性の有無にかかわらず、医薬品に異物の混入、変質があってはならない旨を定めている。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問3】

医薬品の副作用の定義に関する次の記述について、a～cの（ ）に入れるべき字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

※なお、同じアルファベットの欄には同じ字句が入りません。

WHO（世界保健機関）の定義によれば、医薬品の副作用とは、「疾病の予防、診断、治療のため、又は身体の機能を（ a ）するために、人に通常用いられる量で発現する医薬品の（ b ）かつ意図しない反応」とされている。我が国では、「（ c ）が適正な使用目的に従い適正に使用された場合においてもその（ c ）により人に発現する（ b ）な反応」（独立行政法人医薬品医療機器総合機構法第4条第6項）を、医薬品の副作用と定義している。

	a	b	c
1	正常化	重篤	許可医薬品
2	正常化	重篤	一般用医薬品
3	正常化	有害	許可医薬品
4	強化	重篤	一般用医薬品
5	強化	有害	許可医薬品

【問4】

医薬品の副作用に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 副作用の種類に応じて速やかに適切に処置し、又は対応し、重篤化の回避が図られるためには、医薬品を使用する人が副作用をその初期段階で認識することが重要である。
- b. 複数の疾病を有する人の場合、ある疾病のために使用された医薬品の作用が、その疾病に対して薬効をもたらす一方、別の疾病に対しては症状を悪化させたり、治療を妨げたりすることがある。
- c. 医薬品の副作用は、薬理作用によるものをいい、アレルギー（過敏反応）によるものは含まない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	正	正	誤

【問5】

次のa～dは、登録販売者と購入者の会話である。購入者からの相談に対する登録販売者の説明について、正しいものの組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

a	購入者	「乗り物酔いの薬が欲しい。早く効いて欲しいから、1回1錠って書いてあるけど、1回に3錠飲んでもいいよね。」
	登録販売者	「多く飲めば早く効くという訳ではありません。用量を超えて服用すると副作用等が出る可能性があり、危険です。必ず、用法・用量は守って服用してください。」

b	購入者	「病院でもらった薬を飲んでたけど、改善しない。替わりにもっとよく効く薬をちょうだい。」
	登録販売者	「薬を変更するなどの自己判断はしないでください。診療を行った医師に確認をとって、指示を仰いでください。」

c	購入者	「乳児が熱を出した。今は家で待っている。この解熱鎮痛薬を大人の用量の半分の量にして飲ませればいいよね。」
	登録販売者	「乳児でしたら、半分の量にして飲ませれば良いです。早く服用させて、たくさん睡眠をとらせるようにしてください。」

d	購入者	「医薬品って小さい字で書いてあるけど、これは殺虫剤だよね。特に体に悪影響はないよね。」
	登録販売者	「殺虫剤ですので、効果があるのは虫だけです。人体にかかっても影響はありませんので、どのように使ってもらっても構いません。」

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問6】

他の医薬品との相互作用に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品の相互作用とは、複数の医薬品を併用したときに、医薬品の作用が増強する場合であって、作用が減弱する場合には相互作用とは言わない。
- b. 複数の疾病を有する人であっても、疾病ごとにそれぞれ医薬品が使用されるので、医薬品同士の相互作用に関して注意しなくてよい。
- c. 一般用医薬品において、かぜ薬と鎮咳去痰薬では、成分や作用が重複することが多く、通常、併用は避けることとされている。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問7】

医薬品の使用上の注意等における年齢区分に関する次の記述の（ ）に、あてはまる字句として、正しいものを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

医薬品の使用上の注意等において、小児という場合には、おおよその目安として、（ ）未満をいう。

- 1. 7 歳
- 2. 10 歳
- 3. 12 歳
- 4. 15 歳
- 5. 18 歳

【問 8】

医薬品の使用上の注意等における年齢区分に関する次の記述の（ ）に、あてはまる字句として、正しいものを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

医薬品の使用上の注意等において、高齢者という場合には、おおよその目安として、（ ）以上をいう。

1. 60 歳
2. 65 歳
3. 70 歳
4. 75 歳
5. 80 歳

【問 9】

高齢者が医薬品を使用する場合の注意事項に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 喉^{のど}の筋肉が衰えて飲食物を飲み込む力が弱まっている（嚥^{えん}下障害）場合があり、内服薬を使用する際に喉^{のど}に詰まらせやすい。
- b. 肝臓や腎臓の機能が低下している場合には、代謝や排泄が遅くなり、医薬品の副作用が現れにくくなる。
- c. 医薬品の取り違いや飲み忘れを防止するため、家族や周囲の人（介護関係者等）の理解や協力も含めて、医薬品の安全使用の観点からの配慮が重要となる。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	正	誤
4	正	正	正
5	誤	誤	正

【問 10】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 胎盤には、胎児の血液と母胎の血液とが混ざらない仕組み（胎盤関門）があるため母体が医薬品を使用しても胎児には移行しないことが知られている。
- b. ビタミンA含有製剤は、妊娠前後の一定期間に通常の用量を超えて摂取すると胎児に先天異常を起こす危険性が高まる。
- c. 医薬品の成分が乳汁中に移行することはないので、母乳を介して乳児が医薬品の成分を摂取することはない。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	正
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	誤	正	正

【問 11】

医薬品を使用したときに生じる「プラセボ効果」に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 結果的又は偶発的に薬理作用によらない作用を生じることをいう。
- b. プラセボ効果によってもたらされる反応や変化には、望ましいもの（効果）ばかりでなく不都合なもの（副作用）もある。
- c. プラセボ効果は、客観的に測定可能な変化として確実に現れる。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	誤	正	誤
3	正	誤	誤
4	正	正	誤
5	正	正	正

【問 1 2】

医薬品の品質に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品は、高温、多湿、直射日光等の下に置かれることのないように保管・陳列に留意しなければならない。
- b. 医薬品は、適切な保管・陳列がなされていれば、経時変化による品質の劣化はない。
- c. 一般用医薬品は、購入後すぐに使用されるとは限らないため、外箱等に記載されている使用期限から十分な余裕をもって販売等がなされるべきである。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	誤	正	誤
3	正	誤	正
4	正	正	誤
5	正	正	正

【問 1 3】

一般用医薬品に関する次の記述について、a～c の（ ）に入れるべき字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

一般用医薬品は、薬事法上「医薬品のうち、その効能及び効果において人体に対する作用が（ a ）のものであって、薬剤師その他の（ b ）から提供された情報に基づく需要者の（ c ）により使用されることが目的とされているもの」（第 25 条第 1 項）と定義されているように、主として軽医療の分野で使用されるものである。

	a	b	c
1	明らかな	登録販売者	選択
2	明らかな	医薬関係者	希望
3	明らかな	登録販売者	希望
4	著しくない	医薬関係者	選択
5	著しくない	登録販売者	希望

【問 14】

セルフメディケーションに関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 専門家による適切なアドバイスの下、身近にある一般用医薬品を利用する考え方をいう。
- b. 一般用医薬品の使用は、医療機関での治療を受けるほどではない体調の不調や疾病の初期段階、あるいは日常において、生活者が自らの疾病の診断、治療若しくは予防又は生活の質（QOL）の改善・向上を図ることを目的としている。
- c. 乳幼児や妊婦等では、通常の成人の場合に比べ、一般用医薬品で対処可能な範囲は限られてくる。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	正	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	正	誤	誤

【問 15】

一般用医薬品の販売時のコミュニケーションに関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. すぐに医薬品を使用する状況にない場合は、購入者等に対して、実際に使用する際に、改めて添付文書等に目を通すよう促すことが重要である。
- b. 一般用医薬品の購入者は、宣伝広告や販売価格等に基づいて漠然と選択していることも少なくないため、登録販売者は、購入者が適切な医薬品を選択して、適正に使用するよう、働きかけていくことが重要である。
- c. 必ずしも情報提供を受けた購入者本人が医薬品を使用するとは限らないことを踏まえ、販売時のコミュニケーションを考える必要がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	誤

【問 16】

登録販売者が購入者から確認しておきたい基本的なポイントに関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. その医薬品を使用する人として、小児や高齢者、妊婦等が想定されるか。
- b. その医薬品を使用する人が過去にアレルギーや医薬品による副作用等の経験があるか。
- c. その医薬品を使用する人が相互作用や飲み合わせで問題を生じるおそれのある他の医薬品や食品を摂取していないか。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	正	正	正

【問 17】

サリドマイドに関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. サリドマイド訴訟は、妊娠している女性がサリドマイド製剤を使用したことにより、出生児に四肢欠損、耳の障害等の先天異常（サリドマイド胎芽症）が発生したことに対する損害賠償訴訟である。
- b. サリドマイドの副作用として、血管新生を妨げる作用がある。
- c. 日本では、サリドマイド製剤の副作用について海外で警告が発せられてから販売停止及び回収措置が行われるまでの対応の遅さが問題視された。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問 18】

スモンに関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. スモンはその症状として、初期には腹部の膨満感から激しい腹痛を伴う下痢を生じ、ときに視覚障害から失明に至ることもある。
- b. スモンの原因とされているキノホルム製剤は、1960年に全世界で販売が停止された。
- c. スモン訴訟を契機の一つとして、日本では1979年、医薬品の副作用による健康被害の迅速な救済を図るため、医薬品等安全性情報報告制度が創設された。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問 19】

HIV訴訟に関する次の1～5の記述について、誤っているものを一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1. HIV訴訟は、血友病患者が、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）が混入した原料血漿から製造された血液凝固因子製剤の投与を受けたことにより、HIVに感染したことに対する損害賠償訴訟である。
- 2. 国及び製薬企業を被告として提訴されたが、1996年3月に大阪地裁と東京地裁で和解が成立した。
- 3. HIV訴訟の和解を踏まえ、製薬企業に対し、医薬品の副作用報告が初めて義務付けられた。
- 4. HIV訴訟を契機に、国は、エイズ治療研究開発センター及び拠点病院の整備を行った。
- 5. HIV訴訟を契機に、血液製剤の安全確保対策の一つとして献血時の問診の充実が図られた。

【問20】

クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. CJDは、細菌でもウイルスでもない蛋白質^{たん}の一種であるプリオンが原因とされている。
- b. CJDは、次第に認知症に類似した症状が現れる。
- c. プリオン不活化のための化学的処理が十分行われないうまま流通した製品を、心臓外科手術で移植された患者に発生した。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	正	正	正

主な医薬品とその作用

【問 2 1】

かぜ薬に関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. かぜ薬は、ウイルスの増殖を抑えたり、体内から取り除くものである。
- b. かぜであるからといって必ずしもかぜ薬が選択されるのが最適ではなく、発熱など症状がはっきりしている場合には、解熱鎮痛薬などを選択することが望ましい。
- c. エテンザミドが配合されたかぜ薬は、インフルエンザ又は水痘（水疱瘡）にかかっている 15 歳未満の小児への使用を避ける必要がある。
- d. かぜ薬との相乗効果を期待して、かぜ薬の服用期間中に、酒類（アルコール）の摂取を行うことが望ましい。

1. (a , c) 2. (a , d) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問 2 2】

かぜ薬に配合される成分に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ケイ酸アルミニウムは、発熱や痛みを和らげることを目的として用いられる。
- b. ジヒドロコデインリン酸塩（リン酸ジヒドロコデイン）は、中枢神経系に作用して咳を抑えることを目的として用いられる。
- c. デキストロメトルファン臭化水素酸塩（臭化水素酸デキストロメトルファン）は、去痰作用を目的として用いられる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問 2 3】

解熱鎮痛薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アスピリンはライ症候群の発生との関連性が示唆されていることから、一般用医薬品では、小児に対してはいかなる場合も使用しないこと。
- b. サザピリンはピリン系解熱鎮痛成分であり、ピリン^{しん}疹と呼ばれるアレルギー症状をもたらすことがある。
- c. 解熱鎮痛成分（生薬成分を除く。）による胃腸障害を低減させることを目的として、酸化マグネシウムが配合されている場合がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	正
5	誤	誤	誤

【問 2 4】

次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 「アスピリン^{ぜん}喘息」は、アスピリン特有の副作用であり、アスピリン以外の解熱鎮痛成分では生じない。
- b. 化学的に合成された解熱鎮痛成分に共通して、まれに重篤な副作用としてショック（アナフィラキシー）、皮膚粘膜眼症候群や中毒性表皮壊死症、喘息^{ぜん}を生じることがある。
- c. 末梢でのプロスタグランジンの産生抑制は、腎機能に障害があると、その症状を悪化させるおそれがある。
- d. プロスタグランジンには、胃酸の分泌を調節する働きはない。

1. (a , c) 2. (a , d) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問 25】

眠気を促す薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ブロモバレリル尿素（ブロムワレリル尿素）は脳の興奮を抑え、痛み等を感じる感覚を鈍くする作用を示す。
- b. ブロモバレリル尿素（ブロムワレリル尿素）を含む催眠鎮静薬は、胎児障害の可能性がないため、妊婦の睡眠障害の緩和に適している。
- c. 抗ヒスタミン成分を含有する睡眠改善薬の場合、目が覚めたあとも、注意力の低下や判断力の低下等を起こすことがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 26】

カフェインに関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 脳に軽い抑制状態を引き起こす作用を示す。
- b. 作用は弱いものの、反復して摂取すると習慣になりやすい性質がある。
- c. 胎盤関門を通過して胎児に到達すると、胎児の心拍数を増加させる可能性がある。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問 27】

鎮^{うん}暈薬（乗物酔い防止薬）に配合される成分に関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 塩酸メクリジンは、他の抗ヒスタミン成分と比べて作用が現れるのが遅く、持続時間が長い。
- b. スコポラミン臭化水素酸塩水和物（臭化水素酸スコポラミン）は、抗ヒスタミン成分と比べて作用の持続時間は長い。
- c. アミノ安息香酸エチルは、乗物酔いに伴う吐き気を抑えることを目的として、配合されている場合がある。
- d. ジプロフィリンなどのキサンチン系成分は、脳の働きを抑制し、平衡感覚の混乱によるめまいを軽減させることを目的として、配合されている場合がある。

1. (a , c) 2. (a , d) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問 28】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. レイヨウカクは、緊張や興奮を鎮める作用等を期待して用いられる。
- b. 抑^{よく}肝^{かん}散は、小児^{かん}の疳^{かん}を適応症とする漢方処方製剤である。
- c. 小^{しょう}建^{けん}中^{ちゅう}湯は、体質虚弱で疲労しやすく、血色がすぐれない人における、腹痛、動悸^き、手足のほてり、冷え、頻^{ひん}尿及び多尿などのいずれかを伴う、小児虚弱体質、夜泣きなどに適するとされる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問29】

鎮咳去痰薬に配合される成分とその作用の関係が正しいものの組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- | 成 分 | 作 用 |
|---|---------|
| a. コデインリン酸塩水和物（リン酸コデイン） ----- | 抗炎症作用 |
| b. リゾチーム塩酸塩（塩化リゾチーム） ----- | 鎮咳作用 |
| c. dl-メチルエフェドリン塩酸塩
（塩酸メチルエフェドリン） ----- | 気管支拡張作用 |
| d. L-カルボシステイン（カルボシステイン） ----- | 去痰作用 |
1. (a , c) 2. (a , d) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問30】

口腔咽喉薬、うがい薬（含嗽薬）に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 口腔咽喉薬は、口腔内又は咽頭部の粘膜に局所的に作用して、それらの部位の炎症による痛み、腫れ等の症状の緩和を主たる目的とする。
- b. アズレンスルホン酸ナトリウム（水溶性アズレン）は、炎症を生じた粘膜組織の修復を促す作用を期待して配合される場合がある。
- c. ポビドンヨードなどのヨウ素系殺菌消毒成分が配合されたものでは、まれにショック（アナフィラキシー）を生じることがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 3 1】

胃の薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 制酸成分を主体とする胃腸薬については、酸度の高い食品と一緒に使用すると胃酸に対する中和作用が低下することが考えられる。
- b. 消化薬は、胃液の分泌亢進による胃酸過多や、それに伴う胸やけ、腹部の不快感、吐き気等の症状を緩和することを目的とする。
- c. アルジオキサ（アラントインと水酸化アルミニウムの複合体）は、胃粘液の分泌を促す、胃粘膜を覆って胃液による消化から保護する、荒れた胃粘膜の修復を促す作用を期待して配合されている場合がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 3 2】

胃の薬に配合される成分に関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ジメチルポリシロキサン（別名ジメチコン）は、中和反応によって胃酸の働きを弱める。
- b. センブリは、リンドウ科のセンブリの開花期の全草を用いた生薬で、苦味による健胃作用を期待して用いられる。
- c. ケイヒは、クスノキ科のシナニッケイ又はその他同属植物の樹皮及び周皮の一部を除いたものを用いた生薬で、香りによる健胃作用を期待して用いられる。
- d. リパーゼは、アセチルコリンの働きを抑え、過剰な胃液の分泌を抑える。

1. (a , c) 2. (a , d) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問33】

腸の薬に配合される成分に関する次のa～dの記述について、正しいものの組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ケツメイシ（マメ科エビスグサの種子）やゲンノショウコ（フウロソウ科ゲンノショウコの全草）は、整腸作用を期待して配合されている場合がある。
- b. 次硝酸ビスマス等のビスマスを含む成分については、1週間以上継続して使用しないこととされている。
- c. タンニン酸ベルベリンに含まれるベルベリンは、牛乳に含まれる蛋白質（カゼイン）から精製された成分であるため、牛乳にアレルギーがある人では使用を避ける必要がある。
- d. ヒマシ油は、誤飲した防虫剤（ナフタレンを含む）をすみやかに体外に排除させる時に用いられる。

1. (a, b) 2. (a, c) 3. (a, d) 4. (b, d) 5. (c, d)

【問34】

瀉下成分として配合されるものを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1. 塩酸ロペラミド
- 2. センノシド
- 3. 次没食子酸ビスマス
- 4. ベルベリン塩化物水和物（塩化ベルベリン）
- 5. オウバク

【問35】

胃腸鎮痛鎮痙薬に関する次の記述について、a～cの（ ）に入れるべき字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

※なお、同じアルファベットの欄には同じ字句が入りません。

急な胃腸の痛みは、主として胃腸の過剰な動き（痙攣）によって生じる。消化管の運動は（ a ）神経系の刺激によって亢進し、また、（ a ）神経系は胃液分泌の亢進にも働く。そのため、（ b ）等の成分が、（ a ）神経の伝達物質である（ c ）と受容体の反応を妨げることで、胃痛、腹痛、さしこみ（痙痛、痙）を鎮めること（鎮痛鎮痙）のほか、胃酸過多や胸やけに対する効果も期待して用いられる。

	a	b	c
1	副交感	ブチルスコポラミン臭化物 (臭化ブチルスコポラミン)	アドレナリン
2	交感	パパベリン塩酸塩 (塩酸パパベリン)	アドレナリン
3	副交感	パパベリン塩酸塩 (塩酸パパベリン)	アドレナリン
4	交感	パパベリン塩酸塩 (塩酸パパベリン)	アセチルコリン
5	副交感	ブチルスコポラミン臭化物 (臭化ブチルスコポラミン)	アセチルコリン

【問36】

浣腸薬の使用に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 注入剤の薬液は冷やしてから使用すると、不快感を生じることが少ない。
- b. 一般に、直腸の急激な動きに刺激されて流産・早産を誘発するおそれがあるため、妊婦又は妊娠していると思われる女性では使用を避けることが望ましい。
- c. グリセリンが配合された浣腸薬は、排便時に血圧低下が生じないので、体力の衰えている高齢者や心臓に基礎疾患がある人に使用することが望ましい。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	誤
3	誤	正	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問37】

次のa～dの記述について、正しいものの組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 動悸とは、心臓の拍動が弱く若しくは遅くなり、又は脈が乱れ、それが不快に感じられることをいう。
- b. 気つけとは、心臓の働きの低下による一時的なめまい、立ちくらみ等の症状に対して、意識をはっきりさせたり、活力を回復させる効果のことである。
- c. センソは、ウシ科のウシの胆嚢中に生じた結石を用いた生薬で、強心作用のほか、末梢血管の拡張による血圧降下、興奮を鎮める等の作用があるとされる。
- d. ジャコウは、シカ科のジャコウジカ又はその近縁動物の雄のジャコウ腺分泌物を乾燥したもので、強心作用のほか、呼吸中枢を刺激して呼吸機能を高めたり、意識をはっきりさせる等の作用があるとされる。

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (a , d) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問38】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 高密度リポ蛋白質（HDL）は、コレステロールを肝臓から末梢組織へと運ぶリポ蛋白質であり、低密度リポ蛋白質（LDL）は、末梢組織のコレステロールを取り込んで肝臓へと運ぶリポ蛋白質である。
- b. 高コレステロール改善薬の使用は、食事療法、運動療法の補助的な位置づけである。
- c. 高コレステロール改善薬は、ウエスト周囲径（腹囲）を減少させるなどの痩身効果を目的とする医薬品ではない。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	誤
3	誤	正	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問 39】

貧血用薬（鉄製剤）に関する次の a～d の記述について、正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 不足した鉄分を補充することを目的として、フマル酸第一鉄、溶性ピロリン酸第二鉄、可溶性含糖酸化鉄が配合されている場合がある。
- b. 補充した鉄分を利用してヘモグロビンが産生されるのを助ける目的で、硫酸銅が配合されている場合がある。
- c. 服用の前後 30 分にタンニン酸を含む飲食物を摂取すると、鉄の吸収が良くなる。
- d. 貧血の症状がみられる以前から予防的に使用することが望ましい。

1. (a , b) 2. (a , d) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問 40】

鎮咳去痰薬に関する次の記述について、a～c の () に入れるべき字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- ノスカピンは、(a) 鎮咳成分とも呼ばれる。
- ジプロフィリンは、気管支の (b) に直接作用して、気管支を拡張させる。
- グアイフェネシンは、気道粘膜からの分泌を (c) し、痰の切れを良くする。

	a	b	c
1	非麻薬性	平滑筋	促進
2	麻薬性	骨格筋	促進
3	非麻薬性	骨格筋	抑制
4	麻薬性	平滑筋	抑制
5	非麻薬性	平滑筋	抑制

【問 4 1】

次の表は、ある外用痔疾用薬に含まれている成分の一覧である。

この外用痔疾用薬に含まれている成分とその配合目的の関係が正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

100g 中	
ヒドロコルチゾン酢酸エステル（酢酸ヒドロコルチゾン）	0.5g
塩酸テトラヒドロゾリン	0.05g
トコフェロール酢酸エステル（酢酸トコフェロール）	3g
リドカイン	3g
クロルフェニラミンマレイン酸塩 （マレイン酸クロルフェニラミン）	0.2g
l-メントール	0.2g
アラントイン	1g
クロルヘキシジン塩酸塩（塩酸クロルヘキシジン）	0.25g

- a. ヒドロコルチゾン酢酸エステル（酢酸ヒドロコルチゾン）
 ----- 肛門周囲の末梢血管の血行を改善
- b. 塩酸テトラヒドロゾリン ----- 炎症や痒みの緩和
- c. アラントイン ----- 組織修復作用
- d. クロルヘキシジン塩酸塩（塩酸クロルヘキシジン） ----- 局所の感染防止

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (a , d) 4. (b , c) 5. (c , d)

【問 4 2】

泌尿器用薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. カゴソウは、シソ科のウツボグサの花穂であり、利尿作用が期待される。
- b. 猪苓湯^{ちよれいとう}は、尿量が減少し、尿が出にくく、排尿痛あるいは残尿感がある人に適するとされる。
- c. ウワウルシ（ツツジ科のクマコケモモの葉）は、経口的に摂取した後、尿中に排出される分解代謝物が抗菌作用を示し、尿路の殺菌消毒効果を期待して用いられる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 4 3】

婦人薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 女性ホルモン成分は、吸収された成分の一部が乳汁中に移行することが考えられ、母乳を与える女性では使用を避けることが望ましいとされている。
- b. トウキ（セリ科のトウキ又は近縁植物の根）は、血行を改善し、血色不良や冷えの症状を緩和するほか、強壯、鎮静、鎮痛等の作用を期待して用いられる。
- c. 加味逍遙散^{かみしょうようさん}は、まれに重篤な副作用として、肝機能障害を生じることが知られている。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 4 4】

アレルギー用薬に配合される成分に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ヒスタミンの働きを抑える作用を示す成分（抗ヒスタミン成分）として、メキタジンが配合される場合がある。
- b. プソイドエフェドリン塩酸塩（塩酸プソイドエフェドリン）は、他のアドレナリン作動成分に比べて中枢神経系に対する作用が弱いため、副作用として不眠や神経過敏が現れることはない。
- c. ベラドンナは、その根茎や根に、副交感神経系の働きを抑える作用を示すアルカロイドを豊富に含む。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 4 5】

鼻炎用点鼻薬に配合される成分とその作用の関係が正しいものの組み合わせを下の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- | 成 分 | 作 用 |
|--------------------------|----------|
| a. ナファゾリン塩酸塩（塩酸ナファゾリン） | 抗ヒスタミン作用 |
| b. クロモグリク酸ナトリウム | 抗アレルギー作用 |
| c. ベンゼトニウム塩化物（塩化ベンゼトニウム） | 抗コリン作用 |
| d. リドカイン | 局所麻酔作用 |

1. (a , b) 2. (a , c) 3. (a , d) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問 4 6】

眼科用薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 点眼の際には、容器の先端を眼瞼（まぶた）につけて、薬液が確実に目の中に入るように注意しながら 1 滴ずつ正確に点眼することとされている。
- b. イプシロン-アミノカプロン酸は、その抗菌作用による防腐効果を期待して、点眼薬の添加物（防腐剤）として配合されている。
- c. 硫酸亜鉛は、眼粘膜の蛋白質と結合して皮膜を形成し、外部の刺激から保護する作用を期待して用いられる。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	正	正	正
5	誤	誤	正

【問 4 7】

皮膚に用いる薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アクリノール水和物（アクリノール）は、結核菌やウイルスに対して優れた殺菌消毒作用を示す。
- b. イオウは、角質軟化作用を示し、併せて抗菌、抗真菌作用も期待され、にきび用薬に配合されている場合がある。
- c. 塩化カルプロニウムは、頭皮の血管を拡張、毛根への血行を促すことによる発毛効果を期待して用いられる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	誤	正
3	誤	正	正
4	正	誤	誤
5	誤	正	誤

【問48】

外皮用薬に用いられる次のa～dの成分のうち、非ステロイド性抗炎症成分に該当するものの正しい組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. クロタミトン
- b. デキサメタゾン
- c. フェルピナク
- d. ピロキシカム

1. (a, b) 2. (a, c) 3. (b, c) 4. (b, d) 5. (c, d)

【問49】

みずむし・たむし用薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 塩酸アモロルフィン[®]は、皮膚糸状菌のDNA合成を阻害することにより、その増殖を抑える。
- b. ミコナゾール硝酸塩（硝酸ミコナゾール）は、イミダゾール系の抗真菌薬と呼ばれ、副作用としてかぶれ、腫れ、刺激感等が現れることがある。
- c. 湿疹^{しん}か皮膚糸状菌による皮膚感染かはっきりしない場合、まずは抗真菌成分が配合された医薬品を使用すべきである。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	誤	誤	正
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	正	誤

【問50】

歯痛薬に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 塩化セチルピリジニウムは、齲蝕（むし歯）を生じた部分における細菌の繁殖を抑えることを目的として用いられる殺菌消毒成分である。
- b. フェノールは、齲蝕（むし歯）により露出した歯髓を通っている知覚神経の伝達を遮断して痛みを鎮めることを目的として用いられる局所麻酔成分である。
- c. サンシシはアカネ科のクチナシの果実を用いた生薬で、抗炎症作用を期待して用いられる。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	正	正	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問51】

口内炎に関する次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アズレンスルホン酸ナトリウム（水溶性アズレン）は、患部からの細菌感染を防止することを目的として配合される。
- b. シコンは、ムラサキ科のムラサキの根を用いた生薬で、組織修復促進作用や抗菌作用を期待して口内炎用薬に用いられる。
- c. 口内炎の再発を繰り返す場合、ベーチェット病などの可能性も考えられるので、医療機関を受診することが望ましい。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問52】

禁煙補助剤に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 喫煙を完全に止めたうえ使用することとされている。
- b. 咀嚼剤は、菓子のガムのように噛み、唾液を多く分泌させながら使用することが望ましいとされている。
- c. ニコチン離脱症状を軽減しながら、徐々にその使用量を減らしていく必要があるため、使用期間は6ヶ月以上を目安とし、長期間に渡って使用することが望ましい。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問53】

ビタミン成分に関する次のa～dの記述について、正しいものの組み合わせを下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ビタミンA主薬製剤は、レチノール酢酸エステル（酢酸レチノール）、パンテノール、肝油等が主薬として配合された製剤である。
- b. ビタミンD主薬製剤は、骨歯の発育不良、くる病の予防、また妊娠・授乳期、発育期、老年期のビタミンDの補給に用いられる。
- c. ビタミンB₁は、脂質の代謝に関与し、皮膚や粘膜の機能を正常に保つために重要な栄養素である。
- d. ビタミンB₂の摂取により、尿が黄色くなることがある。

1. (a , b) 2. (a , d) 3. (b , c) 4. (b , d) 5. (c , d)

【問54】

滋養強壯保健薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アスパラギン酸ナトリウムは、軟骨組織の主成分で、軟骨成分を形成及び修復する働きがあるとされる。
- b. グルクロノラクトンは、肝臓の働きを助け、肝血流を促進する働きがあり、全身倦怠感や疲労時の栄養補給を目的として配合されている場合がある。
- c. 十全大補湯は、病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、寝汗、手足の冷え、貧血に適するとされるが、胃腸の弱い人では、不向きとされる。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	誤	正	正
5	正	誤	誤

【問55】

漢方処方製剤に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 患者の証（体質及び症状）及び陰陽五行説は、漢方の考え方として重要である。
- b. 用法用量において適用年齢の下限が設けられていない場合であっても、生後3ヶ月未満の乳児には使用しないこととされている。
- c. 防風通聖散は、にきびに適するとされるが、胃腸の弱い人では食欲不振、胃部不快感の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問56】

次の記述に該当する生薬を下の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

キンポウゲ科のハナトリカブトの塊根であり、心筋の収縮力を高めて血液循環を改善する作用を持つ。血液循環が高まることによる利尿作用を示すほか、鎮痛作用を示すが、プロスタグランジンの産生を抑えないことから、胃腸障害の副作用は示さない。

1. ボウフウ
2. ブクリョウ
3. サンザシ
4. ブシ
5. レンギョウ

【問57】

消毒薬に関する次の記述について、a～cの（ ）に入れるべき字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

（ a ）などの塩素系殺菌消毒成分は、強い（ b ）により一般細菌類、真菌類、ウイルス全般に対する殺菌消毒作用を示す。また、（ c ）の洗剤・洗浄剤と反応して有毒な塩素ガスが発生するため、混ざらないように注意する必要がある。

	a	b	c
1	エタノール	酸化力	酸性
2	エタノール	還元力	アルカリ性
3	サラシ粉	酸化力	酸性
4	サラシ粉	還元力	中性
5	サラシ粉	酸化力	アルカリ性

【問58】

殺虫剤・忌避剤に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. フェニトロチオンはピレスロイド系殺虫成分である。
- b. メトキサジアゾンは不可逆的にコリンエステラーゼと結合することにより殺虫作用を示す。
- c. ディートを含有する忌避剤（医薬品及び医薬部外品）は、生後6ヶ月未満の乳児への使用を避けることとされている。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問59】

尿糖・尿^{たん}蛋白検査薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 尿^{たん}蛋白を検査する場合、原則として早朝尿（起床直後の尿）を検体とし、激しい運動の直後は避ける必要がある。
- b. 通常、尿は弱アルカリ性であるが、食事その他の影響で弱酸性～中性に傾くと、正確な検査結果が得られなくなることがある。
- c. 尿糖・尿^{たん}蛋白検査薬は、尿中の糖や^{たん}蛋白質の有無を調べるものであり、その結果をもって直ちに疾患の有無や種類を判断することはできない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	誤	正	正
3	正	誤	正
4	正	誤	誤
5	誤	誤	正

【問60】

妊娠検査薬に関する次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 尿中のヒト^{じゅう}絨毛性^{せん}性腺刺激ホルモン（hCG）の有無を調べるものである。
- b. 尿中hCGの検出反応は、hCGと特異的に反応する抗体や酵素を用いた反応であるため、検査操作を行う場所の室温が極端に高い又は低い場合には、正確な検査結果が得られないことがある。
- c. 検体としては、早朝尿（起床直後の尿）が向いているが、尿が濃すぎると、かえって正確な結果が得られないこともある。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	正	誤	正
3	正	正	正
4	誤	正	誤
5	正	正	誤